

企画書・提案書作成に役立つ

# 仕事の効率をアップする簡単図解技法 コースのご紹介

このたび、人気の「仕事の効率をアップする簡単図解技法」コースをリニューアルしました。

なぜ図解で仕事の効率アップが図れるのでしょうか？

複雑な情報の整理や論点の可視化に図を用いることで、情報伝達の精度が上がります。これにより説明や議論に集中できるようになり、時間短縮や効率アップにつながるのです。本コースをご受講いただき、このことを実感してみてください。

## コース概要

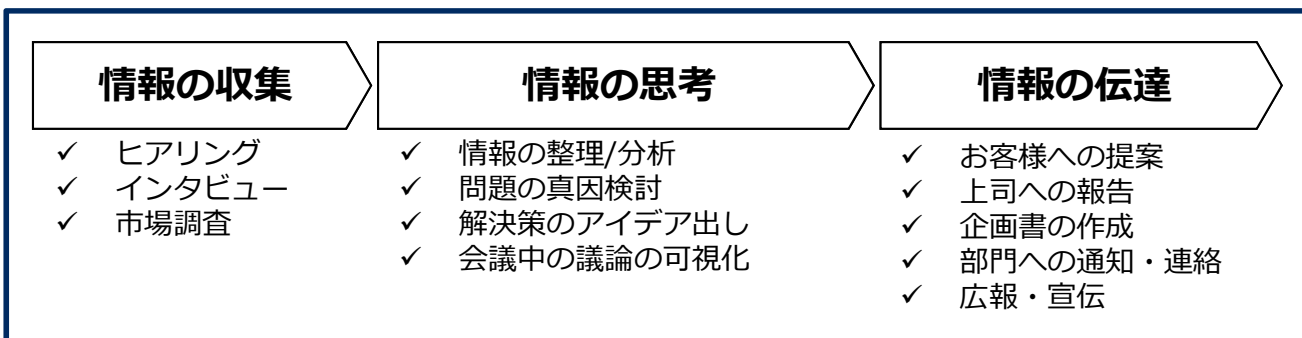
コースコード	コース名	講習日数	受講料(税込)
CO127	仕事の効率をアップする簡単図解技法 ～知りたいこと・伝えたいことを可視化しよう！～	2日間	77,760円

シンプルな基本技術をベースに体系立った実践的な図解技術を修得します。多くの演習を行いながら、理解度の確認と図解センスの向上を図ります。図解技術の極め方を通して、明日からすぐに業務に活かせるポイントをご紹介します。

## 図解が役に立つビジネスシーン

「図解」は情報収集から思考、伝達までビジネス上の様々な業務で活用することができます。

## ビジネスプロセス



「図解」でサポートし、さまざまな業務が効率化する

お申し込みはこちらから

<https://www.neclearning.jp/courseoutline/courseId/CO127/>

## 講師紹介

### 株式会社ネクサック【NEXAC】 代表取締役 橋本 尚久

東京大学大学院理学系研究科修了後、日本電気株式会社入社。システムエンジニアを経験した後、マーケティング部門にて社内技術の製品化・新規事業開発、営業部門にて企画・プロモーション・営業支援業務に従事。

その後、アクセンチュア株式会社に転職。戦略グループにて通信業、金融業におけるマーケティング戦略、IT戦略、業務改革、組織改革等のコンサルティングに従事。独立コンサルタントを経て、2012年に株式会社ネクサックを創業。主に起業支援、中小企業の事業計画策定、マーケティング戦略策定、業務改革の他、階層別研修やビジネススキル等の研修に従事。

中小企業診断士、関東学院大学経済学部非常勤講師、品川区立武蔵小山創業支援センター専門アドバイザー、日本チームビルディング協会認定ファシリテータ。



## 講師メッセージ：受講される皆さまに

図解研修は私が講師業をスタートした際の処女作です。講師として何を伝えたいかと考えた際に真っ先に頭に浮かんだテーマでした。

NEC時代はIT技術を磨き、それを価値として世の中に提供することにチャレンジしてきました。一方でコンサル会社に転職してからは「複雑な情報を論理的に整理し、わかりやすくまとめて伝える」という価値の出し方を求められ、そのスキルを勉強してきました。その中で重要かつ必須だと感じたスキルが「図解技法」でした。

言葉や文章だけで「正しいこと」は伝えられても「わかりやすい」かどうかは別問題です。そのわかりやすさの精度を上げるのが「図解技法」でした。またこの図解技法はどんな業界、職種、業務でも汎用的に使えることを確信しました。私自身、NEC時代に図解を活用していれば仕事の進め方がもっと効率的、効果的になっていただろうと感じました。そこで図解研修の開発に思い至りました。

図解に美術センスは必要ありません。簡単な3つのルールを学ぶだけで、誰でも図解に自信が持てるようになります。

外資系コンサルタントが作る資料がなぜわかりやすいのか、そのノウハウを惜しみなく提供します。是非ご参加ください。

## 関連コースのご紹介

### ■ ロジカルスキル 問題解決編 (eトレーニング)

- お申し込み：<https://www.neclearning.jp/courseoutline/courseId/HS469/>

問題の真因（本当の原因）特定や解決策立案などの思考整理と、問題解決を効率的に行うための図解技術について、実践的な内容を修得します。

### ■ ロジカルスキル コミュニケーション編 (eトレーニング)

- お申し込み：<https://www.neclearning.jp/courseoutline/courseId/HS470/>

ロジカルシンキングを活かし、情報の漏れや話の飛びを防ぐ手法などコミュニケーション力（正しさ、わかりやすさ）を向上するスキルを学びます。

お問い合わせは、下記へ

人材開発サービス事業部 研修申込センター

TEL：03-4330-7560 FAX：03-4330-7550

E-mail：contact@learning.jp.nec.com

URL：https://www.neclearning.jp/

●本資料に記載されている社名またはシステム・製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。  
●本資料では、TMやRは明記していません。

